

鈴木たつお参院選（東京選挙区）へ総決起する決議

私たちは、6月22日公示、7月10日投票の参議院議員選挙にあたって、東京選挙区から出馬する鈴木たつお弁護士を推薦しています。必ず勝利をかちとり、新しい労働者の政党をつくるために共に闘いましょう。

安倍政権による戦争法の強行、改憲への突進は、沖縄で「安保粉碎・全基地撤去」の全島ゼネストへの情勢を生み出しています。また、「総非正規職化・首切り自由」社会、医療福祉や介護をすべて金もうけの道具にする社会に変えようとする攻撃が、もうひとつの改憲攻撃としてかけられ、「命よりカネ」に対して「生きさせる！」の闘いが始まっています。「日本死ね!」の根底的怒り、タックスヘイブンで数十兆の脱税をする資本家に対して「倉庫を開ける、没収しろ」、「甘利も舩添も投獄しろ」という怒りが底の底から噴出寸前となっています。

それは、沖縄の怒り、福島への怒りと必ず一体化します。安倍と資本家の危機は、「解雇撤回・外注化粉碎・非正規職撤廃・被曝労働拒否」の国鉄闘争、動労総連合建設を先頭にした国鉄闘争を、一層輝かせ、力を拡大する情勢を生み出しているのです。

安倍自民党は、今参院選ですでに破綻した「アベノミクス」のエンジンのギアを上げるなどとしか言えず、すさまじい危機にあります。一方の「野党連合」も、「自分たちこそ日本の伝統を守る真の保守だ」（6月5日、民新党幹事長枝野の発言）であり、これに日本共産党がエールを送っているのです。「解雇撤回・非正規職撤廃や全基地撤去は闘うな、私有財産＝資本主義を守り、自衛戦争をやる」という日本共産党本部は、崩壊する新自由主義と安倍政権の最後の救済者として登場しているのです。

しかし、共産党・全労連は、起ち上がろうとする自らの支持者との激突で矛盾を拡大し、連合も分裂を開始しています。時代は歴史的な大分岐点に入ったのです。労働者自身が職場・地域から団結をとりもどし、闘う労働組合と労働者の政党をつくる歴史的な時を迎えたのです。韓国・フランスのゼネストをはじめ全世界で労働者が起ちあがっています。国鉄闘争は全世界の労働者の闘いとつながっています。団結して闘えば勝てるのです。

首都・東京で「労働者による革命」を訴える鈴木たつお候補とともに、職場・地域・街頭の隅々に分け入って闘いましょう。新自由主義の崩壊と矛盾の中で怒りをたぎらせている労働者の自己解放的な決起を生み出し、団結を取り戻し、既成労働運動・既成解放運動や日共のくびきから解き放つときです。資本がどんなに悪辣な攻撃をかけようが、また、資本の犬に墮した連中がどんなにペテンにかけようが、我々から労働者の誇りと団結を奪うことはできないのです。逆に、奪われた団結を取り戻しましょう。

今参院選への決起をとおして、闘う労働組合と新しい労働者の政党づくりを共に担っていきましょう。それは、東京における全国水平同盟の組織建設、拠点建設の展望を確かなものにする闘いです。全国水平同盟の路線と方針、勝利の展望をもって、総決起で闘いましょう。

以上を決議する。

2016年6月12日

全国水平同盟第5回大会